

科目名	デザイン実習 3B							年度	2025
英語科目名	Design Course 3A							学期	後期
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 2年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	袴田哲郎		教員の実務経験	有	実務経験の職種	プロダクトデザイナー			
【科目の目的】 CAD・CGソフトの基礎知識と技術を学ぶ。									
【科目の概要】 Rhinoceors 3Dを使用し各課題のデータ制作を行う。ソフトの特性を理解し、スキルの定着・応用ができるよう課題を設定し取り組むことで基本的な知識と技術の定着を図る。									
【到達目標】 以下のことを目標とする。①目的に合わせたツールの使い方ができること。②基礎的ツールを活用し画面の中でデザイン制作が行えること。③スケール感を想定した正確な3Dデータ制作ができること。④提出期限を厳守し、完成したデザインについて説明できること。									
【授業の注意点】 今後立体デザインにおけるデータ作成の基本になるので、疑問・不明点は必ず明らかにすること。また、課題を繰り返し復習することで必ずスキルアップに繋がるので、苦手とするところをそのままにせず、さらなる向上を目指す為に自宅学習に励むこと。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ソフトの特性を理解したうえで技術を応用し丁寧に課題を制作することができる	ソフトの特性を理解したうえで丁寧に課題を制作することができる	ソフトの特性を理解し課題を制作することができる□	ソフトの特性を理解できないことがあり課題制作が難しい	ソフトについて理解できず課題も制作出来ない				
到達目標 B	課題条件を考え表現内容を工夫し、素材を活かした制作をしている	課題条件に合わせた表現内容を工夫し、丁寧に制作している	課題条件に合わせた表現内容を工夫し、制作している	課題条件に合わせた表現内容を制作しているが、形になっていない	課題条件に合わせた表現内容についての理解が不足している				
到達目標 C	自分の課題について大変よく理解し検証することができる	自分の課題についてよく理解し検証することができる	自分の課題について理解し検証することができる	自分の課題についての理解や検証することが難しいことがある	自分の課題についての理解や検証することができない				
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない				
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない				
【教科書】 課題ごとに資料を用意する									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題80% 提出された課題を総合的に評価する 平常点20% 授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デザイン実習 3B			年度	2025
英語表記		Design Course 3A			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス、Rhino 3D基礎 1	3DCADの概念・ルールの再確認	1 Rhino 3D基礎ツールの習得	3DCADの概念・ルールについて再確認。今後の課題に当てはめてイメージし基本形状を生成できる。	2	
2	Rhino 3D基礎 2	課題に応じたデザインを展開し、データ作成する。	1 ツールの使い方	簡単なツールを使って操作の理解を深める	2	
			2 簡単なデータ作成	簡単なツールを使ってデータ作成ができる		
3	Rhino 3D基礎 3	課題に応じたデザインを展開し、データ作成する。	1 ツールの使い方	簡単なツールを使って操作の理解を深める	2	
			2 簡単なデータ作成	簡単なツールを使ってデータ作成ができる		
4	Rhino 3D基礎 4	課題に応じたデザインを展開し、データ作成する。	1 ツールの使い方	簡単なツールを使って操作の理解を深める	2	
			2 簡単なデータ作成	簡単なツールを使ってデータ作成ができる		
5	Rhino 3D基礎 5	課題に応じたデザインを展開し、データ作成する。	1 ツールの使い方	簡単なツールを使って操作の理解を深める	2	
			2 簡単なデータ作成	簡単なツールを使ってデータ作成ができる		
6	Rhino 3D基礎 6	課題に応じたデザインを展開し、データ作成する。	1 ツールの使い方	簡単なツールを使って操作の理解を深める	2	
			2 簡単なデータ作成	簡単なツールを使ってデータ作成ができる		
7	Rhino 3D基礎 プレゼン	作成データとレンダリングをモニター投影しプレゼンテーション。見せ場や工夫したポイントを解説できる。	1 プレゼンテーション	見せ場や工夫したポイントを解説できる。	2	
8	Rhino 3D応用 1	課題に応じたデザインを展開し、データ作成する。	1 各種ツール使用した一般レベルの3Dデータ作成	前半で習得したツール各種の操作理解を深める	2	
			2 一般的なプロダクト製品のデータ作成	前半で習得したツール各種を応用しデータ作成ができる		
9	Rhino 3D応用 2	課題に応じたデザインを展開し、データ作成する。	1 各種ツール使用した一般レベルの3Dデータ作成	前半で習得したツール各種の操作理解を深める	2	
			2 一般的なプロダクト製品のデータ作成	前半で習得したツール各種を応用しデータ作成ができる		
10	Rhino 3D応用 3	課題に応じたデザインを展開し、データ作成する。	1 各種ツール使用した一般レベルの3Dデータ作成	前半で習得したツール各種の操作理解を深める	2	
			2 一般的なプロダクト製品のデータ作成	前半で習得したツール各種を応用しデータ作成ができる		
11	Rhino 3D応用 4	課題に応じたデザインを展開し、データ作成する。	1 各種ツール使用した一般レベルの3Dデータ作成	前半で習得したツール各種の操作理解を深める	2	
			2 一般的なプロダクト製品のデータ作成	前半で習得したツール各種を応用しデータ作成ができる		
12	Rhino 3D応用 5	課題に応じたデザインを展開し、データ作成する。	1 各種ツール使用した一般レベルの3Dデータ作成	前半で習得したツール各種の操作理解を深める	2	
			2 一般的なプロダクト製品のデータ作成	前半で習得したツール各種を応用しデータ作成ができる		
13	Rhino 3D応用 6	課題に応じたデザインを展開し、データ作成する。	1 各種ツール使用した一般レベルの3Dデータ作成	前半で習得したツール各種の操作理解を深める	2	
			2 一般的なプロダクト製品のデータ作成	前半で習得したツール各種を応用しデータ作成ができる		
14	Rhino 3D応用 プレゼン	作成したデータおよびレンダリングをモニター投影しプレゼンテーションする。見せ場や工夫したポイントを解説できる。	1 プレゼンテーション	見せ場や工夫したポイントを解説できる。	2	
15	授業のまとめ	今後のデザインにおける3DCADの在り方と応用方法を解説	1 解説と課題の振り返り	卒制や社会に出た後のCAD活用法や工夫など理解することが出来る	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等